

《目次》P1 新年度を迎え P2 総会報告 P3 新人歓迎会報告 P4、5 新入会員紹介 P6、7 研修会参加報告
P8 ふじやま便 P9 会員所属病院・施設一覧 P10 各局からのお知らせ P11 理事会議事録・編集後記

新年度を迎え

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

令和元年5月17日(金)に開催された定時社員総会には多くの会員に出席していただきありがとうございました。総会への出席率の高さで当会は会員の手作りの会であるということを毎年、再認識させていただいております。総会では理事会より提案させていただいた全ての議題に対して承認をいただきありがとうございました。

当会は言語聴覚士の第1回国家試験後の1999年の6月に山梨県の言語聴覚士の職能団体として設立し20周年を迎えることができました。この間、当会の活動は学術・人材育成活動、職能活動や広報活動、県の事業への参画、3士会との合同事業の展開など、質的・量的にも充実した活動が展開できる職能団体に成長してきました。

しかし、言語聴覚士を取り巻く環境は社会保障制度の著しい変化に伴い、言語聴覚士が果たす役割も大きく変わりつつあります。私が勤めた始めた頃(平成2年)はコミュニケーションが図れるようになって家に帰ってもらうこと、障害があっても役割を持って社会に戻ってもらうことがリハビリテーション(言語聴覚療法)の目標でした。しかし、現在は「在宅復帰」という言葉が制度的に使用され、算定日数上限が設けられた上にADLを回復させ短期間で在宅に復帰させるという成果主義も導入されています。これまで長期に関わって回復してきたコミュニケーション障害者は、回復の可能性を残しながら在宅に帰ってしまいます。制度的に短い期間でないと患者が観れなくなった現在のリハビリテーションの現状に言語聴覚士としての仕事の魅力、やり甲斐などが薄れてきた印象を受けます。その様な時代だからこそ職能団体としては、言語聴覚士という仕事の魅力を感じてもらい、関連職種と連携が図れる人材を育てる責任があります。

昨年度から事業として展開している失語症友の会「ふじやま」は職能団体が運営する患者会として数社から取材を受けるなど注目されております。定例会で見られる当事者や家族の笑顔は言語聴覚士にとっての地域活動支援の大切さを教えていただくいい機会となります。毎回10数名の言語聴覚士がボランティアとして参加していただいておりますが、参加される施設が限定されつつあります。地域に戻られた失語症者を“元気”にし、そして県内の友の会の活性化に向けて活動を展開するためにも多くの会員の協力が必要となります。是非、お力をお貸しください。

今年度も会員にとって満足していただける事業を展開できるよう理事会は努力をしていきます。県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。



一般社団法人山梨県言語聴覚士会 令和元年度 定時社員総会報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 令和元年度 定時社員総会が、5月 17 日（金）午後 6 時 45 分より、ベルクラシック甲府で開かれました。

司会の赤池三紀子副会長が開会を宣したのち、定款第 18 条に基づき石田礼氏が議長に選出されました。議長より出席者数は 110 名（会場出席者 59 名、書面表決提出者 12 名、委任状提出者 39 名）で定款第 19 条の定足数を満たしており、総会は成立する旨が告げられました。次いで、議事録署名人に、山田徹氏、市川奈弥氏が選出され、議案の審議に入りました。

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告に関する件では、内山会長より事務局、学術局、社会局、山梨県言語聴覚士会失語症友の会「ふじやま」運営委員会、山梨県言語聴覚士会第 11 回学術大会、地域支援事業等推進委員会、山梨県訪問リハビリテーション委員会、災害対策準備委員会、特別支援教育委員会、認知症対策推進委員会、設立 20 周年記念式典準備委員会の平成 30 年度の活動が報告されました。続いて、第 2 号議案 平成 30 年度収支決算報告に関する件では、佐々木財務部部長より収支決算報告が行われました。その後、第 3 号議案 監査報告に関する件では、議長より当法人の会計及び業務の執行についての監査報告を受けた旨報告がありました。採決の結果、いずれの議案も賛成多数で承認されました。

第 4 号議案 令和元年度事業計画案に関する件では、内山会長より各部局、委員会の事業計画案について、第 5 号議案 令和元年度収支予算案に関する件では、佐々木財務部部長より令和元年度の収支予算案について説明がなされ、共に賛成多数で承認されました。

第 6 号議案の山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件では、赤池洋専門職団体協議会副会長より平成 30 年度の各委員会の活動報告、決算報告、令和元年度の活動計画案、予算案について報告され、賛成多数で承認されました。

以上、理事会で提出した議案はすべて承認され、議長の職務は終了となりました。

最後に、内山会長より、今年度設けられた休会制度の説明と失語症友の会「ふじやま」への積極的な介入ならびに設立 20 周年記念式典への参加のお願いがあり、午後 7 時 25 分に閉会となりました。



新入会員歓迎会 参加報告



恵信甲府病院 大野 憲太

令和元年度新入会員歓迎会が、5月17日（金）にベルクラシック甲府にて開催され、新入会員11名を迎え入れることが出来ました。言語聴覚士としての第一歩を踏み出した新入会員の皆さん、おめでとうございます。歓迎会では、赤池三紀子副会長、赤池洋副会長から新入会員の紹介と様々な質問をして頂きました。皆さんの緊張しながらも堂々と受け答えをする姿を見て、皆さんと一緒に働けることを心から嬉しく思いました。

山梨県の県士会は、新人研修や講演会など学ぶ環境がとても充実しています。是非、積極的に参加して頂き、自らの自己研鑽の為に役立ててほしいです。また、今年度の新人研修に参加する方たちは、県士会の同期になります。たくさん交流して、刺激し合って切磋琢磨できる関係になってもらえたらと思います。

最後になりますが、一般社団法人山梨県言語聴覚士会は、今年度で20周年を迎えます。先輩方が築いてきた、県士会はとても充実したものになっています。さらに盛り上げるべく、若い力で一緒に頑張っていきましょう。



新卒者研修全課程修了者（以下、順不同）

望月 理恵、甘利 卓也、海野 友希、大室 陽佳
秋山 仁哉、市野 直樹、塩澤 亜希、萩野谷 巧
大野 憲太、増田 歩実、野村 美咲、斉藤 健

皆さん一年間、お疲れさまでした！！！！



令和元年度 山梨県言語聴覚士会 新入会員紹介



よだ なつき
依田 夏輝

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

今年度、春日居サイバーナイフ・リハビリ病院に入職いたしました、依田夏輝と申します。出身は山梨県の南アルプス市です。食べるのが大好きです。大学の時より山梨県に帰って仕事がしたいという気持ちが強くあり、現在山梨県で働くことの喜びをかみしめています。

日々の業務は大変ですが、学べることが多く患者様の気持ちに寄り添ったリハビリが提供できるよう頑張りたいです。



しま みづき
志摩 美月

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

4月より春日居サイバーナイフ・リハビリ病院に入職致しました。志摩美月と申します。出身地は長野県佐久市です。趣味は体を動かすことで、バレーボール部、ハンドボール部、ユニホック部に所属していました。スポーツ観戦も好きで、バレーや高校野球などをテレビでよく見えています。言語聴覚士として、1人でも多くの患者さんの力になれるよう頑張りたいと思います。また、社会人としても人としても成長していきたいです。



なかの りほ
中野 里穂

石和温泉病院

長野医療衛生専門学校に通い、久しぶりに地元山梨に戻ってきました。毎日富士吉田市から御坂峠を越えて通勤しており、後続車に煽られてドキドキ、慣れない職場では、ドタバタしています。優しい先輩方からご指導いただき患者様により良いリハビリテーションが行えるよう技術を磨いていきたいと思いません。宜しくお願い致します。



いづか まこと
飯塚 真

石和温泉病院

笛吹市出身、39歳の遅れて来たルーキーです。前職は医療職とは関係のない職歴でしたが、最後のチャンスだと思いSTになりました。趣味はソフトボールで20~70歳代のメンバーと汗を流しています。入職し約二か月が過ぎましたが、まだ慣れないことも多く患者様、諸先輩方から日々学ばせていただいています。常に考え、患者様の気持ちや生活に寄り添えるSTになれるよう日々を大切に、精進していきたいと思いません。宜しくお願い致します。



こいけ ななみ
小池 七海

甲府城南病院

4月1日より甲府城南病院に入職しました。生まれ育った故郷に恩返しをしたく、四季折々の自然豊かな山梨に再び戻れたこと、山梨県言語聴覚士会の会員となれたことを大変嬉しく思っています。患者様や御家族に寄り添い、日進月歩できる言語聴覚士を目指していきたいと思いません。至らぬ点多々あるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



きくはら ゆうが
菊原 悠雅

石和共立病院

初めまして。長野県から来ました石和共立病院で言語聴覚士をしています菊原悠雅（きくはらゆうが）と申します。山梨県に来た理由は、学生時代の実習で2回山梨県の病院にお世話になり、約4ヵ月間山梨に住む中で山梨の自然、人の中で生活していきたいと感じたからです。まだまだ分からない事も多いですが新人研修などに参加させていただき、成長していきたいと思ひます。宜しくお願いします。



くどう ちなつ
工藤 知夏

甲府共立診療所

甲府共立診療所の工藤知夏です。経験豊富な諸先輩方に多くのことを学ばせていただき、一人前の言語聴覚士になるために、ひたむきに頑張っています。慣れない山梨の地ではありますが、たくさん良いところを知っていきたくひです。



いで ゆき
井出 有紀

甲州リハビリテーション病院

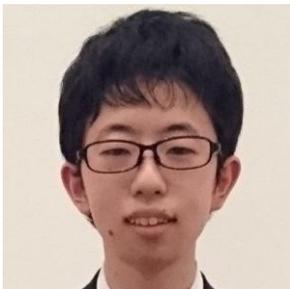
出身は長野県の佐久穂町で夏は涼しく過ごしやすい町です。出身校は新潟医療福祉大学です。新しい環境での生活に不安もありますが、患者様や先輩方から日々多くのことを学んでいます。今後も学ぶ姿勢と努力を忘れず、患者様一人ひとりと向きあえるよう日々精進していきまひす。どうぞよろしくお願ひ致します。



わたなべ りさ
渡邊 里咲

山梨リハビリテーション病院

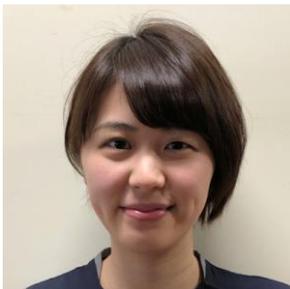
山梨県の富士河口湖町出身です。私は、ことばをうまく話せず悲しい思ひをされている方、ご飯が食べられずに辛い思ひをされている方の力になりたいと思ひ言語聴覚士になりました。そして、なにより大切な地元の方を支える一人になっていきたくひ思っています。よろしくお願ひします。



さいとう しゅんたろう
斉藤 俊太郎

恵信梨北リハビリテーション病院

恵信梨北リハビリテーション病院の斉藤俊太郎です。出身は栃木県のさくら市というところまひす。中学生の時は剣道部に入部してまひました。好きな食べ物はお寿司やお刺身など魚や貝などが好きです。旅行に行く事が趣味で今まひまで北海道や四国などにいきました。今まひもいろいろな土地に旅行に出かけて行きたいと考へています。まひだ分からないところなどもいろいろとありご迷惑をおかけまひしますが、今まひもご指導のほどよろしくお願ひいたします。



かなまる あみ
金丸 亜美

富士吉田市立病院

出身は山梨県忍野村です。地元で言語聴覚士として働くために東京の学校に行き、今年度山梨に帰ってくる事ができました。入職してから臨床現場で慣れないことまひ悩むことも多い日々です。まひだまひだ未熟でご迷惑をかけることもあると思ひますが、1日でも早く先生方のような言語聴覚士になれるよう、常に学ぶ姿勢で業務に励んでいきたくひ思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

(順不同)

研修会参加報告

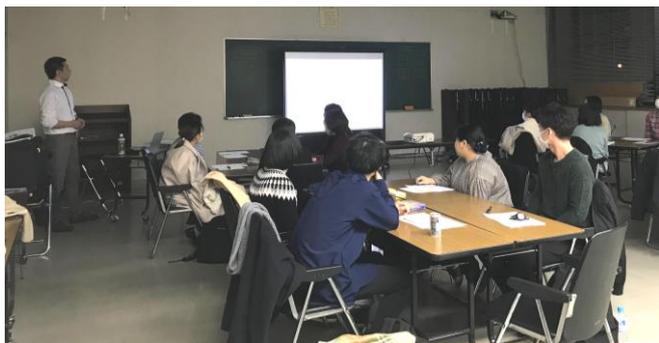
認知症対策推進委員会 第1回勉強会

山梨リハビリテーション病院 杉本久美子

平成31年2月27日、認知症対策推進委員会が主催する初めての勉強会は、「認知症の現状を知る」というテーマで行われました。

委員長の山田先生には、地域の方へ認知症を正しく理解していただくために行った地域活動を通し、経験されたことをふまえて講義して頂きました。STが認知症の方のコミュニケーションをサポートしていく重要性や留意点を学ぶことができました。

その後、グループに分かれ、「認知症の方を地域でどのように支えていくことができるのか」というテーマでそれぞれ考えました。いくつかの項目に沿って実際に考えていきましたが、私自身の知識、経験不足のため、認知症の方がどのように地域で生活されているかといったことから具体的に想像することが難しかったです。グループで話し合い、意見をまとめ発表しましたが、推進委員の先生方やオブザーバーの赤池三紀子先生、池神先生のご指導を頂き、さらに実践的に考えることができました。グループワークがあり、主体的に参加し楽しみながら学ぶ事ができ、とても充実した時間を過ごす事ができました。



平成30年度山梨県 PT・OT・ST 指導者育成研修会

笛吹中央病院 山田徹

平成31年3月10日、山梨県 PT・OT・ST 指導者育成研修会に参加させていただきました。

本研修会では、机上の学習だけではなく、グループワークや地域ケア会議体験など実践的に学ぶ機会となりました。グループワークでは、リハビリ専門職種と言ってもPT・OT・STとそれぞれの専門性があり、「自立」のとらえ方も職種によって多種多様であり、職種間の違いを感じました。しかし、職種によって違う視点があるからこそ物事を多角的にとらえることができ、共通認識を高めていくことができるのではないかと感じました。

支援型地域ケア会議は、介護保険法の基本理念に則り、さらに専門的な意見を盛り込んだ「対象者に合った元気になるケアプランの作成」を目指したものです。

普段の臨床から、心身機能へのアプローチ、活動へのアプローチ、参加へのアプローチと明確に目標設定を行って、常に生活に戻っていくことを意識して、取り組んでいく必要性を改めて実感しました。

研修会では、その他、山梨県の現状についてや大分県視察研修の報告など見識を深める貴重な研修会となりました。

災害対策委員会研修会

甲府城南病院 佐藤淳貴

今回の研修会では、DPAT(災害派遣精神医療チーム)の概要と、実際の震災での活動報告を聴講し、チーム間での情報伝達や、次のチームや地域への引継ぎが大切であること等を学びました。なかでも重要と感じたのは、災害に対する心の反応には個人差があり、画一的に見ず一人ひとりに合わせた対応を行う必要があること、また災害時には平時の延長線上のことしかできない為、平時から備えることが大切だという点です。それは、私たちSTが日々の臨床業務で大切にしている事であり、それが災害時の被災者への心のケアにも役立つと思われま。残念ながらDPATにSTは入っていませんが、災害時にはSTも大きな役割を担える可能性を感じました。そしてその時に備え、平時から相手に合わせた臨床を行うことをより意識していきたいと思いました。

地域支援事業等推進委員会「暮らしを考える視点と実践」

山梨大学医学部附属病院 石田礼

今回、「暮らしを考える視点と実践」というテーマで、甲州ケア・ホーム 作業療法士の保坂和輝先生と伊東工務店 代表取締役 一級建築士の伊東誠三先生からご講演を頂きました。

保坂先生からは、日頃のリハビリに地域の視点を持つことの重要性をご教示頂きました。「生活」のみでなく「暮らし」をイメージしていくことの重要性を考える機会となりました。また、伊東先生は建築士の立場から、建築現場や住宅に関する知識、さらに実際に家屋改修に携わった事例を詳細にご紹介頂きました。個人が生活しやすいことだけでなく、介護者の負担軽減にも配慮した改修をされていることを知り、大変勉強になりました。

今回の講演会を通じて、暮らしを念頭に置きながら患者様や利用者様を支えていくことが出来るように、日々の業務に活かしていきたいと思ひます。

導入研修「地域包括ケア推進コース」「介護予防推進コース」

勝沼ナースィングセンター 坂井李菜

平成31年1月26日、2月16日の2日間、地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成 導入研修「地域包括ケア推進コース」「介護予防推進コース」へ参加しました。最新の情報や他県での活動内容なども含めて講義を頂き、実際に住んでいる市町村の介護保険事業計画や地域包括支援センターの役割等を調べることで、より身近に地域リハや社会資源について学ぶことができました。今回の参加者は10名以下と少人数であったため、グループワークでも密な話し合いができました。老健では、地域貢献活動へ取り組み、住民とのネットワークを構築することも求められるため、STとして地域の方が住み慣れた街でいきいきと生活できるよう支援していきたいと思ひます。

平成 31 年 3 月 24 日に第 4 回定例会、令和元年 6 月 1 日に第 5 回定例会を行いました。季節を感じたり、おいしいものを食べたりと、とても実りある時間となりました。

第 4 回定例会：「お花見にでかけませんか」

参加者 40 名



第 4 回は自動販売機で飲み物を購入したり、令和元年度の「ふじやま」の活動を話し合い、第 5 回は、フルーツピザ、フルーツサンドを作りました。各回、当事者・ご家族体験型の定例会となりました。

当事者やご家族の“やりたいこと”や生活の様子などを直に伺うことができ、ST としても社会人としても多くのことを学ぶ機会となっています。今後も多くの当事者やご家族、ST が参加して下さることを楽しみにしております。

第 5 回定例会：「楽しく作って食べよう！」

参加者 33 名



令和元年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

令和元年5月現在

【医療関係】

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韭崎市旭町上條南割 251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890	国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	しもべ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
一宮温泉病院 リハビリテーション部	405-0077 笛吹市一宮町坪井 1745	Tel 0553-47-3131 Fax 0553-47-3434	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel 0554-45-8861 Fax 0554-45-8876
甲斐リハビリテーション クリニック	400-0117 甲斐市西八幡 3900	Tel 055-278-2016 Fax 055-278-2017	笛吹中央病院 リハビリテーション技術科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
加納岩総合病院 リハビリテーション課	405-0018 山梨市神内川 1309	Tel 0553-22-2511	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0005 富士吉田市上吉田 6530	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	北杜市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北杜市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992
恵信梨北リハビリテーション病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
健康科学大学 クリニック	401-0302 南都留郡富士河口湖町小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション課	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579
甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5833 Fax 055-241-8660	竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262

【介護・福祉・教育関係】

おおくに在宅ケアセンター おおくに訪問リハビリテーション	400-0053 山梨県甲府市大里町 5328	Tel 055-220-2555 Fax 055-220-2556	ノーサイドクリニック甲府教室	400-0008 甲府市緑が丘 2-10-1 まごころ補聴器内	Tel 090-1201-4419 Fax 055-215-2401
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221	富士・東部 小児リハビリテーション診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
介護老人施設 ノイエス リハビリテーション部	409-3863 中巨摩郡昭和町河東中島 443	Tel 055-275-1165 Fax 055-275-1161	山梨県立あけぼの医療福祉センター 成人寮アドバンテージあさひ 自立訓練部門	407-0046 韭崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-30-0111
しらゆり 訪問看護ステーション	400-0114 甲斐市万才 289	Tel 055-276-9933 Fax 055-276-9939	山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韭崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628

《各局からのお知らせ》

事務局

- ・社員総会後にバルクラシック甲府で行われました新入会員歓迎会は、新入会員10名が参加し総勢71名(内、来賓4名)で、和やかな雰囲気の中、開催することができました。
- ・今年度の総正会員数は137名です。総会までに118名の方に会費を納入していただきました。皆様のご協力に感謝いたします。まだ納入がお済みでない方は、佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。(年会費10,000円)

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

学術局

今年度、教育部では新卒者研修の開催回数を増やし、生涯研修部は新たな講座の開催を予定しています。より充実した内容を企画していきますので、皆様、ご参加の程、よろしくご願ひ申し上げます。

<教育部>

- ・第1回 新卒者研修会
日 時：令和元年5月29日(水) 18:30~
場 所：甲府市東公民館
内 容：言語聴覚士の職務と役割 講師：内山量史先生(春日居)
STのコミュニケーションに欠かせないもの
講師：赤池三紀子先生(湯村)
 - ・第2回 新卒者研修会
日 時：令和元年6月20日(木) 18:30~
場 所：甲府市東公民館
内 容：グループワーク・1分間スピーチ・神経心理検査の診方
(HDS-R/MMSE、RCPM)
 - ・第3回 新卒者研修会
日 時：令和元年7月11日(木) 18:30~
場 所：甲府市東公民館
内 容：摂食嚥下障害と構音障害の診方/リスク管理~講義・実技形式
を踏まえて~
講師：小池京子先生(国立甲府)
 - ・第4回 新卒者研修会
日 時：令和元年9月19日(木) 18:30~
場 所：甲府市東公民館(予定)
内 容：対人コミュニケーションスキルについて
講師：中村晴江先生(城南)
 - ・第5回 新卒者研修会
日 時：令和元年10月24日(木) 18:30~
場 所：甲府市東公民館(予定)
内 容：標準失語症検査(SLTA) - 基礎知識 -
標準失語症検査(SLTA) - 実技演習(聞く・読む)
 - ・第6回 新卒者研修会
日 時：令和元年11月14日(木) 18:30~
場 所：甲府市東公民館(予定)
内 容：標準失語症検査(SLTA) - 実技演習(話す・書く・計算)
 - ・第7回 新卒者研修会
日 時：令和元年12月12日(木) 18:30~
場 所：甲府市東公民館(予定)
内 容：症例検討・1分間スピーチ
- ### <生涯研修部>
- 学術講演会
- ・第1回 学術講演会
日 時：令和元年9月13日(金) 18:30~
テーマ：「(仮)文字の障害について」
会 場：びゅあ総合
講 師：新貝尚子先生(NTT東日本関東病院)
 - ・第2回 学術講演会
日 時：令和元年12月13日(金) 18:30~
テーマ：「(仮)脳画像」
会 場：びゅあ総合(予定)
講 師：大村優慈先生(国際医療福祉大学)
- 症例検討会
- ・第1回 症例検討会
日 時：令和元年6月13日(木) 18:30~
会 場：甲府市東公民館
発表者：橋本晃典先生(城南) バイザー：中嶋崇博先生(県中)

- スーパーバイザー：赤池 洋先生(山梨大学)
発表者：矢萩智章先生(湯村) バイザー：小池京子先生(国立甲府)
・第2回 症例検討会
日 時：令和元年8月15日(木) 18:30~
会 場：甲府市東公民館
発表者：柴田美貴子先生(甲州) バイザー：赤池三紀子先生(湯村)
発表者：杉本久美子先生(山リハ) バイザー：石田礼先生(山梨大学)
・第3回 症例検討会
日 時：令和元年10月10日(木) 18:30~
会 場：甲府市東公民館(予定)
発表者：白川楓先生(湯村) バイザー：萩原由香先生(山リハ)
スーパーバイザー：角田美奈先生(山リハ)
発表者：宮澤美鈴先生(石和温泉) バイザー：和泉裕二先生(牧丘)
・第4回 症例検討会
日 時：令和元年12月19日(木) 18:30~
会 場：甲府市東公民館(予定)
発表者：野村美咲先生(春日居) バイザー：市川奈弥先生(巨摩共立)
発表者：堀内賀子先生(城南) バイザー：赤池 絢先生(甲州)
- 小児領域勉強会
- ・第1回小児領域勉強会
日 時：令和元年6月8日(土) 14:30~
会 場：甲府共立診療所
内 容：「言葉の相談と初回評価のポイント」
講 師：飯塚周子先生(甲府共立診療所)
- 生涯学習プログラム
- ・専門講座
日 時：令和元年10月4日(金) 18:30~
テーマ：「臨床実習」
会 場：びゅあ総合(予定)
講 師：内山量史先生(春日居)
 - ・第1回基礎講座
日 時：令和元年7月30日(火) 18:30~
テーマ：講座2「臨床業務のあり方、進め方」
講 師：内山量史先生(春日居)
テーマ：講座4「言語聴覚療法の動向」
講 師：赤池 洋先生(山梨大学)
 - ・第2回基礎講座
日 時：令和元年9月11日(水) 18:30~
テーマ：講座1「臨床マネージメントと職業倫理」
講 師：佐々木蘭子先生(春日居)
テーマ：講座6「研究法序論」
講 師：中村晴江先生(城南)

社会局

社会局は、渉外部、広報部、会報編集部・ホームページ管理部の3部体制で活動しています。

<渉外部>

日本語聴覚士協会や山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門協会などの他団体との連携や行政との連携・協力を行っていきます。また、今年度より円滑な医療・連携を図るうえで必要な情報を把握するために「外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査」を実施します。会員の皆様のご協力をお願い致します。

<広報部>

一般市民に向けた言語聴覚療法の広報及び啓発活動を図っていきます。特に今年もいきいき山梨ねんりんピックの出展やイベントなどへの参加を通じて言語聴覚士の理解と社会的認知度を深めていきたいと思っております。

<会報編集・ホームページ管理部>

今年度は会報誌「県士会 NEWS 44号、45号」の発行だけではなく、当士会設立20周年記念誌の発行を行います。またホームページでは運営・管理を行い、当士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように情報の収集・発信を推進していきます。今年度も会員の皆様のご協力を宜しくご願ひ致します。

平成30年度 第9回理事会議事録

日 時：平成30年12月19日（水）18時37分～19時43分

出席理事：内山 赤池 池神 市川 桂川 小池 高橋 佐々木 中嶋 山田 吉澤 河西

欠席理事：元木

<協議事項>

1. 新卒者研修会の回数を年7回とし10月に追加開催することが決定した。
2. 県士会HP「ふじやま」を開設することが決定した。
3. 認知症対策推進委員会より会員を対象とした勉強会を開催することが承認された。
4. 「失語症全国大会in おおいた」の広告掲載内容が承認された。

<報告事項>

1. 第6回新卒者研修会の開催が報告された。
2. 山梨県民間病院協会 PTOTST 部会主催研修会、山梨県在宅医療多職種研究会の開催が報告された。
3. クリアファイル納品、社章バッジの作製が報告された。
4. 山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 研修会、山梨県リハ専門職団体協議会災害対策支援委員会への出席が報告された。
5. 第11回学術大会の開催が報告された。
6. 第3回山梨県リハ専門職合同学術大会は PT 士会が担当事務局であり、当会から赤池（羊）副会長、佐々木理事、桂川理事、中嶋理事が委員として選出されたことが報告された。

平成30年度 第10回理事会議事録

日 時：平成31年1月18日（金）18時36分～20時12分

出席理事：内山 赤池 池神 市川 桂川 佐々木 高橋 中嶋 元木 山田 吉澤

欠席理事：河西 小池

<協議事項>

1. 定時社員総会・新人歓迎会を2019年5月17日に開催することが承認された。
2. 昭陽地或包括主催の「言いはなし・カフェ」にて講師派遣の依頼があり、認知症対策推進委員会にて対応することが承認された。

<報告事項>

1. 第3回学術講演会、第4回症例検討会の開催が報告された。
2. インクルーシブ教育推進事業12月実績が報告された。
3. 失語症友の会「ふじやま」第6回運営委員会の開催が報告された。
4. 設立20周年記念式典第2回準備委員会が開催され、会場、ロゴマークの作製、記念誌、ロゴマーク付き県士会封筒について検討したことが報告された。

平成30年度 第11回理事会議事録

日 時：平成31年2月15日（金）18時36分～20時36分

出席理事：赤池 池神 桂川 小池 佐々木 高橋 中嶋 元木 吉澤 河西

欠席理事：内山 市川 山田

<協議事項>

1. 第1回理事会の日程が4月12日に決定した。
2. 症例検討会を5回、基礎講座を2回（各2講座）開催することが承認された。
3. 学術講演会を遠方の講師に依頼する場合は、年間の開催回数（3～4回）や日程を調整していくことが決定した。
4. 渉外部の活動として、外来リハ、訪問リハ、通所リハ、通所介護に関するアンケート

編集後記

平成から令和へと新しい時代が幕を開けた今年、山梨県言語聴覚士会は20周年を迎えます。美しく平和な時代が期待されるのは、私たちが現在いかに困難な問題に直面しているかという証のようでもあります。私たち言語聴覚士に求められる役割も決して易しいものではありませんが、先輩方が築いてくださった伝統を受け継ぎながら、新しい時代に合わせて変化していくことを恐れず、力を合わせて困難に打ち勝っていけるよう努めたいと思います。

今年度は20周年記念誌の発行を予定しておりますので、県士会ニュースは年2回の発行となります。充実した内容となるよう部員一同で励んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。（南 曜子）

ト調査を次年度6月下旬に実施し、8月上旬に結果をHPで開示することが承認された。

5. 広報グッズの一環として、県士会オリジナルの袋を作製することが決定した。
6. 県士会NEWS44号の企画案が一部修正の上、承認された。
7. 次年度の各部の部員補充について検討し、承認された。

<報告事項>

1. 平成30年度代表者会議の開催、会員動向が報告された。
2. 第4回学術講演会、第5回小児命救急勉強会開催が報告された。
3. 介護職場人材育成研修会、甲府市の中核市移行及び保健所設置に関する説明会、在宅医療総合支援事業研修会、平成30年度インクルーシブ教育システム推進連発会議第2回全体会議および合理的配慮部会への出席が報告された。
4. 山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会第4回運営委員会の開催が報告された。
5. 導入研修地或包括ケア推進コースの開催が報告された。
6. 失語症友の会「ふじやま」第3回定例会開催、山梨日日新聞への掲載が報告された。
7. 設立20周年記念式典を11月1日にアーバンヴィラ古民家ホテルで開催することが報告された。

平成30年度 第12回理事会議事録

日 時：平成31年3月15日（金）18時36分～20時56分

出席理事：内山 赤池 池神 市川 桂川 小池 佐々木 高橋 山田 吉澤 河西

欠席理事：中嶋 元木

<協議事項>

1. 次年度第2回理事会日程が5月31日に決定した。
2. 次年度より休会制度を設けることが承認された。
3. 当会の患者会支援について報告された失語症研究の別冊とふじやま通信を県士会作製の袋に同封し、総会で会員に配布することとなった。
4. 携帯マイク、スピーカーを購入することが決定した。

<報告事項>

1. 2019年度定時社員総会資料の検討をおこなった。
2. 山梨県民間病院協会介護健康フェア、平成30年度第2回峡東地或リハビリテーション広域支援センター連絡会、平成30年度在宅医療チームによる訪問栄養指導検討会、山梨在宅多職種研究会意見交換会への出席が報告された。
3. 第1回JIMTEF 災害医療研修スキルアップコース、第1回災害対策支援委員会、山梨県リハ専門職団体協議会第2回研修会が報告された。
4. 第11回学術大会第5回実行委員会の開催、記録集・DVD 配布学術大会決算報告書が報告された。
5. 第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 第1回運営委員会の開催が報告された。
6. 導入研修介護予防推進コース、山梨県リハ専門職団体協議会委員会主催研修会、PTOTST 指導者育成研修会が開催されたことが報告された。

場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

議 長：内山暁史（第9.10.12回）、赤池三紀子（第11回）

書 記：窪田 光、坪井沙妃、小澤しず香、坂井李菜

議事録作成：河西祐子

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

<発行人> 内山 暁史

<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部

石 和 温 泉 病 院 南 曜 子
恵信製北リハビリテーション病院 坂 本 楓
甲 府 城 南 病 院 桂 川 祐・河 村 有 美
麻 内 賀 子
巨 摩 共 立 病 院 原 田 史 佳
湯 村 温 泉 病 院 岡 大 樹
山 梨 大 学 医 学 部 附 属 病 院 赤 池 洋
山 梨 県 立 大 学 附 属 病 院 杉 本 久 美 子

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日> 2019年7月1日 第44刊

やさしい聴こえのお手伝い



- 認定補聴器技能者在籍
- 試聴器の無料貸出
- 支援法補聴器取り扱い

写真: シグニア補聴器 スタイルレット 充電式



認定補聴器専門店

山梨リオン補聴器センター

甲府店 ☎ 0120-29-3321 玉穂店 ☎ 0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。



Atos
Atos Medical Your voice

株式会社アトスメディカルジャパン

〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

HEALTH CARE FOOD
在宅 通信販売

Healthy Network



病院で使われている介護食を
ご家庭にお届けしています。

- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
- ☑ 飲食時によくむせる方に
- ☑ 食の細かい方に

やわらかさの程度や形態別に分類されたおかず、
とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載
されています。また、栄養指導で
役立つコラムも多数ご紹介して
います！

とろみ調整食品は
トロミパワースマイル
がオススメ！

カタログのご請求・お問い合わせは

〒191-0024

東京都日野市万願寺1-34-3

株式会社ヘルシーネットワーク

0120-236-977 受付時間 9:00~17:00※日・祝除く

ヘルシーネットワーク 検索 <http://www.healthynetwork.co.jp>

ヘルシーフード 検索

かきまぜても離水しにくい新しいゼリー

まぜても ジュレ

従来のゼリーにはない特性を持った
リセットゲルになります

- クラッシュしても離水しにくい
- 再結着性(まとまり)がある
- よくかきまぜるととろみ状になる



foodCare
JAPAN

〒252-0143 神奈川県相模原市 緑区橋本4-19-16 OMGビル
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い

摂食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介

様々な製品を取りそろえています。

<p>毎食頂く毎に楽しめる 10種類の味</p> <p>エンジョイゼリー</p> <p>プレーン いちご コーヒー チョコレート あずき味 バナナ味 さや 抹茶 スイートポテト味 りんご味</p>	<p>個別の栄養状態に合わせた 食べやすさ</p> <p>エンジョイカップゼリー</p> <p>いちご味 キャラメル味 あずき味 コーヒー味 りんご味 マンゴ味</p>	<p>原産地を指定される40g</p> <p>エンジョイ ハイカロリーゼリー</p> <p>りんご味 もも味</p>	<p>とろみの食の向上とはやさしい</p> <p>とろりんこ quickly</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。
☎ 0120-52-0050 [クリニコ] 検索 <http://www.clinico.co.jp>

産別乳業グループ栄養開発部門
株式会社クリニコ

唾液のチカラで健康と笑顔を
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal



Pepti-sal(ペプチサル)とは、

「Peptide (ペプチド)」+
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
デリケートなお口をやさしくケアし、
お口の環境を健康に保ちます。
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売

T&K ティーアンドケー株式会社

☎ 0120-555-350

www.comfort-tk.co.jp



「医療専門家 × 医療機器ベンチャー × フードケア」
連携の新しい会社「カレイド株式会社」

何気ない普段の「おいしい、もぐもぐ、ごっくん」の三拍子が、
上手くできない方々への「あきらめない」を応援したい。

3年目のカレイド、そして

「ジェントルスティム(干渉電流型低周波治療器)」を
よくお願いいたします。



オーエムジープファミリー QOL(生活の質)を支える「食事・嚥下ケアカンパニー」として日本から世界へ

「ケア食」で毎日を楽しむ
株式会社 フードケア
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444

「ケア器」で毎日を支える
カレイド株式会社
TEL: 042-700-8830 FAX: 042-700-8840



誤嚥リスクの低減

新しい背上げ

ハイバックサポート機能



P300
シリーズ

医療・介護ベッドメーカー

株式会社
プラッツ
<http://www.platz-ltd.co.jp/>

■関東支店 / 関東ショールーム

〒105-0014 東京都港区芝2-16-9 芝YSビル3F

TEL.03-5427-8033 FAX.03-5427-8031

■福岡本社 ■北海道 ■宮城 ■東京 ■愛知 ■大阪 ■広島